

教科・「科目」	家庭・「家庭基礎」	単位数	学習形態	学年	履修学科、必修・選択の別等
		2	座学・実習	1	全学科必修修科目

1. 目標と評価規準

目標	人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。		
評価の観点と比重	評価規準		評価の方法
関心・意欲・態度 (20%程度)	人の一生、家族・家庭、子どもや高齢者の生活、それらと社会との関わり、衣食住について関心を持ち、その充実・向上をめざして意欲的にとりくむとともに、実践的な態度を身につけようとする。		学習状況 学習意欲 課題の提出状況等
思考・判断・表現 (10%程度)	自分や家族・家庭、地域の生活にかかわる課題を見つけ、課題解決のため思考を深めて、工夫したり創造したりし、自分の考えをまとめ、判断できる。		提出物 小テスト 授業中の発表 定期考査等
技能 (30%程度)	自分・家庭や地域社会の生活に関する課題を解決するため、必要な基礎的・基本的な技術を身につけることができる。		実習製作作品等
知識・理解 (40%程度)	自分や家族・家庭、地域社会の役割を理解し、生活の充実向上にむけて必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。		小テスト 定期考査等
使用教材等	「新図説 家庭基礎」実教出版 「家庭科学習ノート」佐賀県高等学校家庭部会編		

2. 年間指導計画

学期	月	単元・教材名	主な学習内容	ICT利活用
1 学期	4	家庭科を学ぶにあたって 学校家庭クラブについて	○家庭科で何を学び、どのような学習活動をしていくのかを知る。 ○家庭クラブの意味と進め方について理解する。	電子黒板 学習用パソコン
	5	第1章 自分らしい人生をつくる	○各ライフステージの特徴と課題を理解し、男女が相互に協力して家庭を築き、家族関係をつくる必要性を学ぶ。 ○家族・家庭に関する基礎的な法律や、家事労働・職業労働について知り、ワーク・ライフ・バランスについて考える。	
	6	第2章 子どもと共に育つ	○子どもの育つ力と発達段階を知るり、親・家族等の関わりの大切さを学ぶ。また、遊び、基本的な生活習慣の形成、食事、健康管理について学ぶ。 ○高齢社会の現状と課題や、高齢期の心身の変化や特徴について理解する。	
	7	第3章 高齢社会を生きる 第4章 共に生き、共に支える ホームプロジェクトの説明	○高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題について学習する。 ○家庭生活を振り返り、課題を見つけ、夏休みに調査・研究を行う。 定期考査	
2 学期	9	ホームプロジェクトの発表	○夏休みの宿題を発表する。	電子黒板 学習用パソコン
	10	第6章 衣生活をつくる	○被服のさまざまな役割を整理する。 ○被服材料の特徴や組成表示などの意味が分かる。 ○汚れ落ちの仕組みを理解し、被服に適した洗濯や保管方法を知る。 ○生涯を通じて健康で安全な衣生活が営めるように学習する。	
	11	第5章 食生活をつくる	○日常の食生活を振り返り、食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解する。 ○食品の選択や基本的な調理技術を習得し、生涯を通じて健康で安全な食生活が営めるようになる。 定期考査	
	12			
3 学期	1	第8章 経済生活を営む 第9章 生活を設計する	○多様化する物やサービスの購入方法、代金の支払い方法について適切な購入方法やトラブル防止策を理解します。また法律や制度について理解し、消費者としての権利と責任について考える。 ○環型社会、持続可能な社会を作り出していくための課題について考える。	電子黒板 学習用パソコン
	2	第7章 住生活をつくる まとめ	○住まいの発展について学び、求められる機能と空間との関係について理解します。また、健康との関わりについて理解し、管理についての基礎的な知識を習得する。 学年末考査	
	3			

備考	実習費あり
----	-------